

## 住民を巻き込む地域活性化～フィルムコミッション活動を通して～ (新島・式根島ロケーションボックス)

### 1.背景

新島村は新島・式根島の2島からなり、海や温泉など豊かな自然を有する地域である。ロケーションの良さもあり、近年メディアからの問合せが増加し、ロケ受入による経済効果も期待されるものの、マンパワーの制約や一部メディアによる調整困難な相談等もあり観光協会のみでは対応しきれない状態となっていた。また受入に際しては問合せを担当した人次第の対応となり、ルールがなかったため、取材対応件数や内容が集約されず、放送されて終了というケースも起きていた。このような課題に対応するために関係機関の連携を強化し、新島村商工会を問合せ窓口とする「新島・式根島ロケーションボックス」が2015年に発足した。

### 2.地域の魅力を再認識

始動後は窓口を一本化し、取材内容を精査した上で対応している。メディアからの問合せ対応や島内案内等を通して、担当者が改めて島のことを学び、島を知るきっかけになっているという。2016年からは「映像のチカラコンテスト」を開催。これは島外の学生に島に来てもらい、島の魅力を映像作品にしてみらうもので、若者視点からの地域資源の掘り起こしと情報発信を目的としている。

このような新たな取組や受入態勢の強化もあり、問合せ・支援件数は3年間で問合せ件数が約1.5倍、放送等に至った件数が約3倍と増加している。メディアにさまざまな切り口で取り上げられることは、普段気づかないコトやモノなど島に存在する多くの魅力を住民が再認識するきっかけにもなった。

そして、13年ぶりに開催される伝統芸能「獅子木遣り」がメディアに掲載される予定。担い手が減り継続が危ぶまれる行事だが、外からの再評価により、住民の誇りにつながるとともに次世代へのメッセージになることが望まれる。

### 3.地域内の協力体制を築く

撮影、取材側のニーズと地域への影響を考慮し、調整、受入判断をすることにより、地域のPRとなるものを支援する流れができてきた。関係機関では、商工会を中心として、行政や観光協会など関係機関との情報連携や意見交換が進み、共通認識を作る機会となった。

ロケ受入にあたっては、撮影場所の交渉、幅広いネタ収集、エキストラ参加など住民の協力が欠かせない。丁寧な協力依頼を積み重ねることにより、今まで観光にあまり関係のなかった漁業関係者や民間事業者、学生など幅広い住民と関わることで、事業や地域の価値に対する住民の理解が進み、協力体制を築けるようになってきたという。さらに、撮影にあたってメディア関係者が昨年度約350人来島しており、宿泊や飲食等を伴うことから、観光事業者のみならず商店や飲食店など多方面への経済効果が生まれている。

### 4.今後の展開

ロケ受入はメディアや作品を見た方が実際に地域を訪問することで、ファンの増加や地域経済への影響も期待できる。

住民向けには、夕方の定時放送を活用したり、島が舞台となった映画「おいしい家族」(2019/9 公開)の公開前に島内先行上映会を開催するなどしてフィルムコミッション活動の認知を上げる取組を実施している。また、担当者が活動を楽しむ姿を見て、島の魅力を伝える案内人が増えることや、子どもたちに“島でも楽しいことができる”ことを伝える効果を期待したいという。

### <おわりに>

新島・式根島は元よりリピーターも多く、島好きに人気の島ですが、時にはメディアの対応に苦慮されるケースもあったようです。メディアの影響は大きいだけに、一時的なブームではなく長い目で見て地域にもたらす効果を見極めた受入が重要なように思います。

さまざまな経験を通して、関わった人たちが喜びを感じられるような心に残る体験の積み重ねが信頼関係をつくり、ひいては地域づくりに繋がるのではないのでしょうか。若者にとっても魅力的な地域であり続けるためにも、フィルムコミッション活動のような地域を活性化する取組に期待しています。

(地域支援窓口 島しょ担当 平田)

### ◆関連リンク

新島・式根島ロケーションボックス [https://nijima.or.jp/nijima\\_pr/](https://nijima.or.jp/nijima_pr/)

